



株 主 の 皆 様 へ

The JUKI logo is rendered in a bold, blue, sans-serif font. The letters are thick and blocky, with a slight shadow effect.

第104期 中間報告書

2018年1月1日 ▶ 2018年6月30日

JUKI 株式会社

証券コード：6440

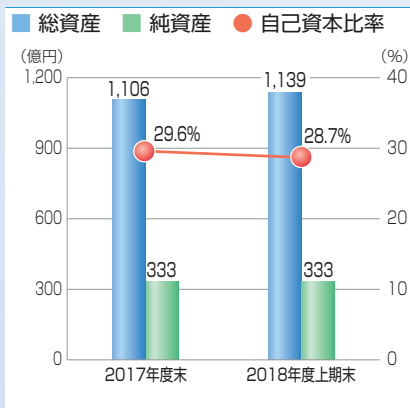
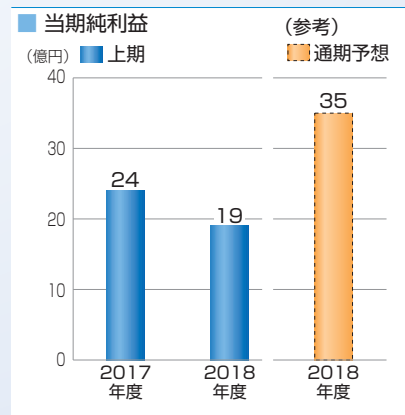
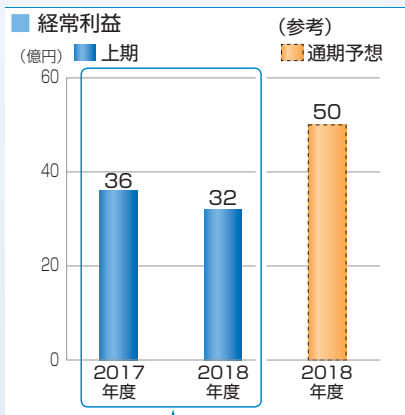
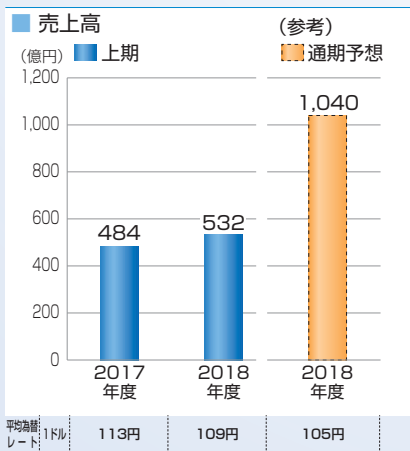
## 業績のポイント

売上高 532億円 (前年同期比 48億円の増加)

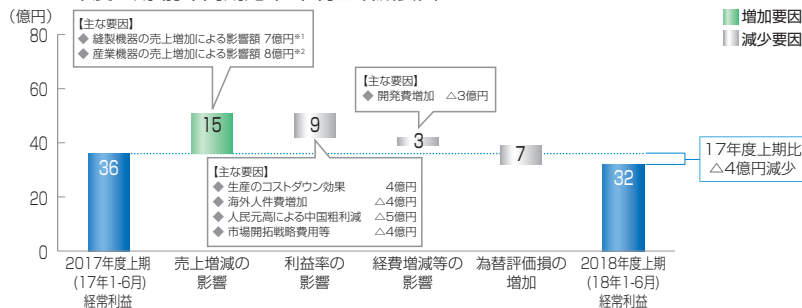
経常利益 32億円 (前年同期比 4億円の減少)

当期純利益 19億円 (前年同期比 5億円の減少)

売上高は、ソリューション営業を推進するとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケットにおける顧客基盤の構築も進んできましたが、一部生産遅延の影響もあり、前年比10.0%の増収。利益面は、売上増の一方で、ミドルマーケットの市場攻略費用や開発費用の増加に加え、人民元高ドル安の影響などにより、営業利益は前年比若干増加。また、ドル安により外貨建債権の為替評価損が拡大したことなどから、経常利益は前年比△11.5%の減益。



### 2018年度上期 前年同期比 経常利益増減要因



※1 中国でのハイエンド商品、新興国ミドルマーケットでの売上増等

※2 新商品、ソリューション営業による売上増等

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第104期中間報告書(2018年1月1日から2018年6月30日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマート工場などを提案するソリューション営業活動に取り組むとともに、将来に亘る磐石な顧客基盤の構築のため、アジア市場を中心としたミドルマーケットでの攻略を推進しております。このような状況のなか、中国での活発な設備投資需要があるものの電子部品の供給不足などにより生産の一部に遅延が生じていることから、売上高は532億3千5百万円となりました。

利益面につきましては、ミドルマーケットの市場攻略費用や開発費用の増加に加え、人民元高ドル安基調のため中国生産会社での粗利益が目減りしたことなどにより、営業利益は36億5千万円となりました。また、前年度末と比べて円高ドル安で推移したことで、外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が生じたことなどから、経常利益は31億7千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億4千2百万円となりました。

2018年12月期通期の業績予想につきましては、米中貿易摩擦などにより当面の為替動向や新興国での事業環境が不透明であることから、前回公表値(2月9日)から変更しておりません。

また、期末配当の予想につきましては、前回公表値の1株につき25円を修正しておりません。

当社は、今年の12月15日に創立80周年を迎えます。当社グループが次の90年、100年へと将来に亘って継続的に成長していくため、長期ビジョンとしての「21世紀を生き抜くグローバルでイノベティブ(革新的)なものづくり企業」のもと、今年度は2018年度から2020年度の3年間の中期計画ビジョンである「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」の着実な実現を目指してまいります。

このビジョンを実現するために、ソリューション営業での価値創造力の強化や市場開拓による顧客基盤の構築、グローバルでイノベティブ(革新的)な人材の育成・活用やスマートな事業基盤の構築等に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

清原 晃

# 2018年上期(1-6月)実績総括

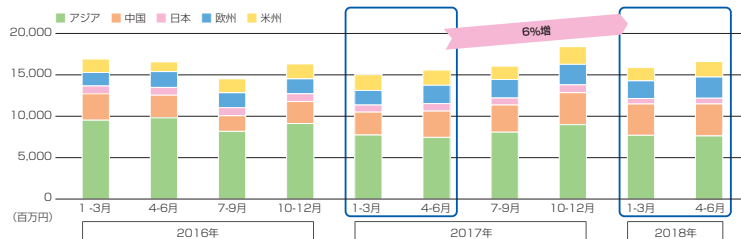
## 縫製機器&システム事業（工業用ミシン・家庭用ミシン）

市場別では中国などハイエンド分野での売上は堅調に推移し、アジア市場におけるミドルマーケットでの売上も前年同期より増加してきていることから、縫製機器&システム事業全体の売上高は347億6千9百万円(対前年同期比6.8%増)となりました。

### ● 工業用ミシン製品の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2017年 (1-6月)	2018年 (1-6月)	増減額
アジア	152	153	1
中国	59	76	17
日本	18	14	△ 4
欧州	40	47	7
米州	38	35	△ 3
合計	306	325	19

### ○ 工業用ミシン製品の地域別売上高推移



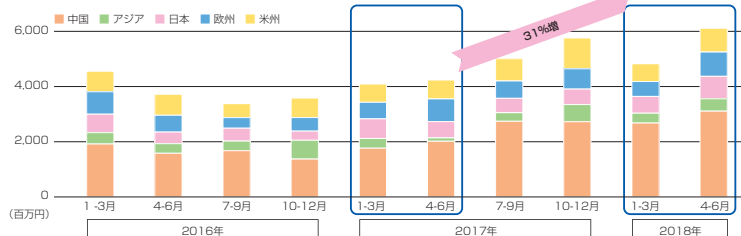
## 産業機器&システム事業（産業装置、グループ事業、カスタマービジネス）

産業装置では最大の市場である中国をはじめとして設備投資需要が引き続き旺盛であるなか、新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置などの売上が増加し、また、受託加工等のグループ事業でも顧客開拓が進んでまいりました。しかしながら、生産遅延により一部の需要に応えられなかったこともあり、産業機器&システム事業全体の売上高は183億2千3百万円(対前年同期比17.0%増)となりました。

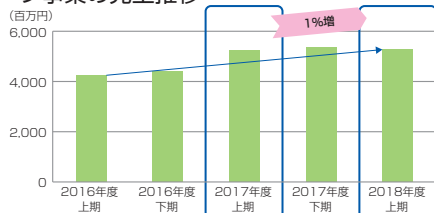
### ● 産業装置の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2017年 (1-6月)	2018年 (1-6月)	増減額
中国	38	58	20
アジア	5	8	3
日本	13	14	1
欧州	14	14	0
米州	13	15	2
合計	83	109	26

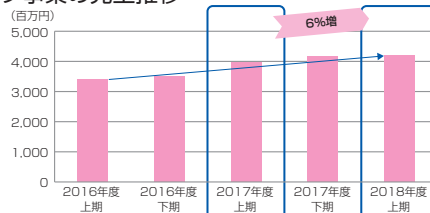
### ○ 産業装置の地域別売上高推移 (含むパーツ・サービス)



### ● グループ事業の売上推移



### ● パーツ事業の売上推移



## 1. 2018年度通期業績予想

	(億円)			(億円) 【参考】 (億円)	
	2018年度 上期 (1-6月)	2018年度 上期 (1-6月)	差異 (B-A) (差異率)	2018年度 通期 (1-12月)	2017年度 通期 (1-12月)
	予想 (A)	実績 (B)		予想	実績
売上高	510	532	22 (4.4%)	1,040	1,037
(縫製機器&システム)	(-)	(348)	(-)	(690)	(691)
(産業機器&システム)	(-)	(183)	(-)	(350)	(343)
営業利益	25	37	12 (46.0%)	55	82
経常利益	22	32	10 (44.5%)	50	78
当期純利益	14	19	5 (38.7%)	35	56
				配当	
				通期：25円/株	通期：35円/株 (うち記念配当10円/株)
為替レート	1ドル=107円	1ドル=109円		1ドル=105円	1ドル=112円

## 2. 環境認識

### 経済環境

- **世界経済は、昨年同様安定的な成長維持を期待**
  - ・但し貿易摩擦リスク、地政学的リスクには注意が必要
- **電子部品・工作機械業界の設備投資需要は堅調**
  - ・情報通信 (IoT) 分野の技術革新、労働人口不足

### 顧客ニーズ

- **技術革新 (「もの」から「こと」へ) の動きが加速**
  - ・AI、ロボット、クラウド等への関心拡大
- **スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資**
  - ・デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入

### 企業への要請

- **経営体制の合理化**
  - ・コーポレートガバナンス体制の強化、グローバルな対応体制
- **利益重視の経営**
  - ・毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

## 1. 中期経営計画6つの基本方針

ビジョン

お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業  
～世界中のお客様へ「感動と安心」をお届けしよう!!～

基本方針

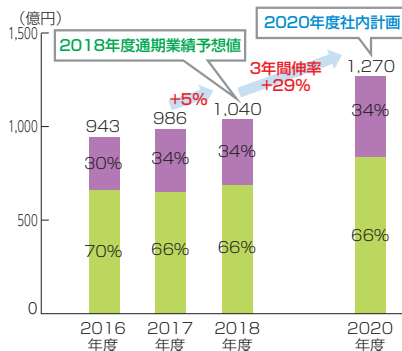
事業戦略	① ソリューション営業での価値創造力の強化 ～自動化・システム化の提案力強化、AI等先端技術の取り込み
	② 市場開拓による将来の顧客基盤構築 ←今年度追加
	③ 将来を見据えたビジネスカテゴリの創出と強化
体制戦略	④ ビジョンを実現するグローバルで イノベティブ（革新的）な人材の育成と活用
	⑤ スマートな事業基盤の構築 （プロセスのSmart & Connected化） ←今年度追加 ～サプライチェーンマネジメントの改革、働き方改革の推進
	⑥ 財務体質の強化による自己資本の積み上げ

## 2. 中期経営計画の進捗状況

【売上高】

（目標：年間9%増収）

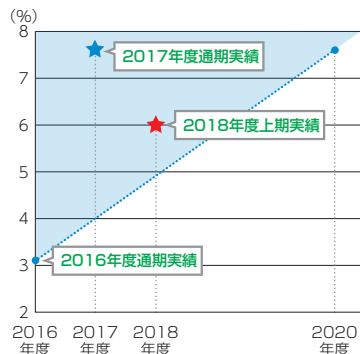
2018年度 予想値 1,040億円



【経常利益率】

（目標：2020年度 7.6%以上）

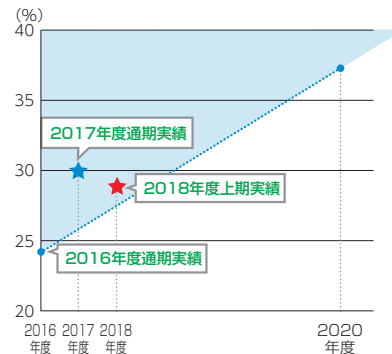
2018年度 上期実績 6.0%



【自己資本比率】

（目標：2020年度末 37%以上）

2018年度 上期実績 28.7%



## 1. 工業用ミシンの重点施策

**ビジョン** JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

**基本方針** 各市場（ミドルマーケット含む）に合った、縫製スマート工場のスタンダード確立と提案強化

**重点施策**

- ・スマートファクトリービジネスモデルの確立と品揃え拡充
- ・縫製ネットワークシステムのパッケージ展開
- ・アジアビジネスモデル再構築と拠点幹部の育成

## 2. JUKIが提案するスマートファクトリー（JUKI Smart Solutions）

《ハイエンド向け》  
デジタルシリーズを  
軸とした  
ラインソリューション



《生産性向上・省人化》



自動機



ロボット縫製



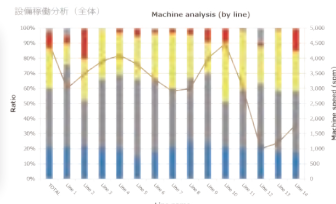
自動搬送装置 (AGV)



《ミドル向け》  
シンプルシリーズを  
軸とした  
ラインソリューション



《JaNets》  
IoT活用による現場改善



## 1. 家庭用ミシンの重点施策

**ビジョン** 趣味力の高いお客様（Home Sewer）と新たな楽しみの創造

**基本方針** 強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に堅実な事業を展開

**重点施策**

- ・ JUKIの強みを活かした製品展開で、ホビー・クラフトマーケットを攻略
- ・ 市場規模が大きく、且つハイエンド市場のある主要3市場(日米欧)に注力し、売上増強と収益改善を図る
- ・ ニーズ探索、情報発信力強化によるユーザーの囲い込み

### 市場の特性にマッチしたラインナップ強化

《日本》  
ロックミシン



《シユルル》  
MO-1000ML

リアル&デジタル  
↓  
顧客の創造



&



《日本》  
高級職業用ミシン



SL-700EX

《欧州》  
高級家庭用ミシン



《Kirei》 HZL-NX7

《アメリカ》  
高級家庭用ミシン  
キルト用ミシン  
刺しゅう機



《彩》 QVP (タジマ工業製)



《みやび》 J-350QVP



## 1. 産業装置の重点施策

ビジョン	得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ～2020年に <u>汎用機台数でトップシェア</u> を達成
基本方針	多機能マウンタ及び非マウンタ領域の拡大にて <u>事業基盤を確固たるもの</u> とする
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客層別販売戦略・商品戦略の推進</li> <li>新製品投入による販売拡大及び粗利率の改善</li> <li>ソリューション営業による省力化装置・自動倉庫・提携商品の拡販</li> </ul>

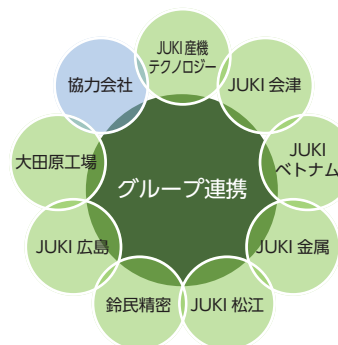
## 2. JUKIが提案するスマートファクトリー（JUKI Smart Solutions）



## 1. グループ事業の重点施策

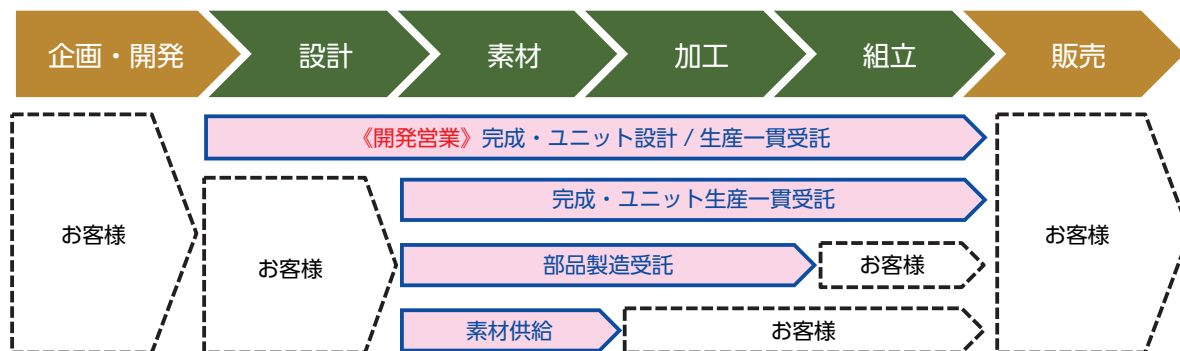
ビジョン	JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かしJUKI第三の柱へ
基本方針	新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大で、第三の柱とするべく売上を拡大 ～2020年に売上目標150億円を達成
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発営業（独自製造技術、独自製品の商品化）による売上拡大</li> <li>・重要顧客の間口拡大による売上拡大</li> </ul>

## 2. JUKIが提案する一貫受託サービス（JUKI Contract Business Model）



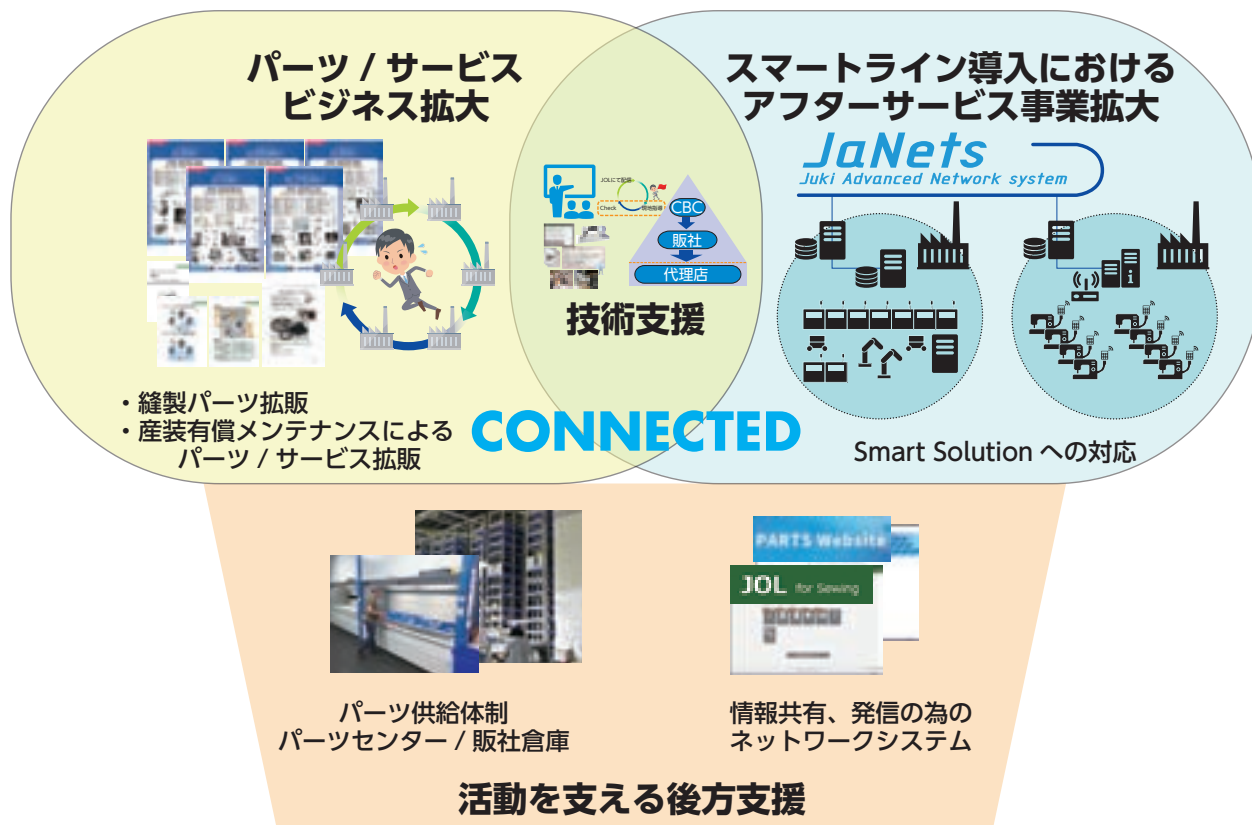
生産グループ会社（国内7社、海外1社）と協力会社によるJUKIのものづくり力とネットワークを活用

- ★外部のお客様のニーズに対し
- ★グループ連携で受託範囲を拡大することで
- ★お客様のものづくりプロセスを補完する



## 1. カスタマービジネスの重点施策

ビジョン	今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品
基本方針	縫製、産業装置の垣根を越えたカスタマービジネスの拡大
重点施策	(縫製) パーツWebサイトを活用したネットセールスによる顧客の囲い込み (産装) 有償メンテナンスによるパーツの需要掘り起こし (共通) スマートライン導入におけるアフターサービス事業拡大、パーツ/サービスの相乗的な付加価値創生



## 中間連結財務諸表（要旨）

### 中間連結貸借対照表

(百万円)

科目	前期 2017年12月31日現在	当第2四半期 2018年6月30日現在	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	79,102	82,817	3,715
固定資産	31,451	31,101	△ 350
資産合計	110,554	113,919	3,365
<b>負債の部</b>			
流動負債	55,589	58,787	3,198
固定負債	21,621	21,848	227
負債合計	77,211	80,635	3,424
<b>純資産の部</b>			
株主資本	33,468	34,384	916
その他の包括利益累計額	△ 742	△ 1,739	△ 997
非支配株主持分	617	639	22
純資産合計	33,343	33,284	△ 59
負債純資産合計	110,554	113,919	3,365

### 中間連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期 2017年1月1日から 2017年6月30日まで	当第2四半期 2018年1月1日から 2018年6月30日まで	増減
売上高	48,389	53,235	4,846
売上原価	32,949	37,177	4,228
売上総利益	15,439	16,057	618
販売費及び一般管理費	11,821	12,407	586
営業利益	3,618	3,650	32
営業外収益	501	637	136
営業外費用	531	1,109	578
経常利益	3,589	3,178	△ 411
特別利益	38	13	△ 25
特別損失	51	16	△ 35
税金等調整前四半期純利益	3,576	3,175	△ 401
法人税等	1,158	1,177	19
四半期純利益	2,417	1,998	△ 419
非支配株主に帰属する 四半期純利益	12	55	43
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,404	1,942	△ 462

## 会社情報（2018年6月30日現在）

### ■ 会社概要

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	180億4,471万円
本社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決算期	12月
営業品目	工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他
従業員数	5,978名（連結）
連結子会社数	26社

### ■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 80,000,000株
- 発行済株式総数…………… 29,874,179株
- 株主数…………… 12,223名

## JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1  
TEL: 042-357-2211

<http://www.juki.co.jp>

### ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,298	11.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,208	4.04
株式会社みずほ銀行	938	3.14
GOVERNMENT OF NORWAY	772	2.58
日本生命保険相互会社	732	2.45

### ■ 所有者別株式分布状況

